

平成 24 年 6 月 12 日、萩市佐々並の黒ヶ谷営農組合への県有放牧牛貸し出しで、今年は早くも 8ヶ所目となりました（黒毛和種繁殖雌牛 2 頭）。

黒ヶ谷営農組合では、農用地の保全管理を目的として、昨年度から山口型放牧を実施し、クズ、カヤ、セイタカアワダチソウが主体となった耕作放棄地の解消に取り組んでおり、少しずつ効果が現れています（佐々並地域では今回 3 年目）。

畜産技術部（畜産試験場）では、新たに放牧を始めたい方が牛を用意できない場合、山口型放牧グループの繁殖牛を貸し出す「レンタカウ」の取り組みを行っています。

今後も引き続き「いつでも」「どこでも」「だれでも」「簡単に」をモットーに、山口型放牧への取り組みを支援していきますので、「新たに放牧に取り組みたい」などのご要望がありましたら、当部やお近くの農林事務所畜産部までご連絡ください。



関係者一体の取り組み



現在の実施箇所